



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東  
 コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 田中 彰一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 杉山 茂紀 TEL 042-764-0392  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,467	22.0	215	137.0	267	129.1	177	232.7
2025年3月期第3四半期	4,483	△1.2	90	—	116	—	53	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 140百万円( -%) 2025年3月期第3四半期 0百万円(△96.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 錢	円 錢
2026年3月期第3四半期	28.76	—
2025年3月期第3四半期	8.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 錢
2026年3月期第3四半期	14,570	11,309	77.6	1,831.13
2025年3月期	15,451	11,590	75.0	1,879.99

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 11,309百万円 2025年3月期 11,590百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
2026年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢	
通期	9,500	12.0	800	1.0	840	0.3	570	1.4	92.48	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	6,499,000株	2025年3月期	6,499,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	322,749株	2025年3月期	333,949株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	6,171,295株	2025年3月期 3 Q	6,163,229株

(注) 期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式60,100株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)における世界経済は、米国の通商政策の動向、地政学的リスクの長期化や中国経済の成長鈍化などの懸念がある中、緩やかな回復基調を維持しました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済対策等により緩やかに回復する動きをみせましたが、米国の通商政策の影響による景気下振れリスクや、物価上昇の継続による個人消費の弱含みなどが下押し要因となっていました、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、次世代通信規格やAIサーバー、自動車の電装化を背景にした電子部品メーカーの技術革新への取り組みは継続しましたが、産業機器市場における在庫調整の長期化や、スマートフォン向け電子部品の前倒し需要とその反動による変動から、デバイスマーケタの設備投資は成長分野に絞られ、総じて慎重な姿勢が続きました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスマーケタの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル作製依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品業界を中心とした新規先からの受注を獲得しました。

生産面では、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努め、顧客への納品に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は44億98百万円(前年同四半期比34.8%減)、売上高は54億67百万円(同22.0%増)となりました。

損益につきましては、経常利益2億67百万円(前年同四半期比129.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億77百万円(同232.7%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は29億74百万円(前年同四半期比42.8%減)、売上高は38億63百万円(同61.7%増)、セグメント利益は6億34百万円(同372.4%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

##### (水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にあることや生成AI需要の拡大に伴うデータセンター向けサーバー用水晶デバイスの需要増加などを受け、デバイスマーケタの設備稼働率は回復傾向となりましたが、市場全体での活発な増産設備投資には至りませんでした。一方で、前期までに受注した案件の納入は順調に進捗いたしました。

水晶デバイス装置の受注高は8億81百万円(前年同四半期比52.6%減)、売上高は13億80百万円(同24.9%増)となりました。

##### (光学装置)

光学業界では、スマートフォンの出荷台数は回復基調にあるものの、デバイスマーケタの増産設備投資は市場全体では低調に推移しました。一方で、前期までに受注した案件の納入は順調に進捗いたしました。

光学装置の受注高は2億72百万円(前年同四半期比85.9%減)、売上高は18億26百万円(前年同四半期は1億56百万円)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発や顧客からのサンプル作製依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努め、航空宇宙関連を含む新規先からの受注を獲得しました。

電子部品装置・その他装置の受注高は18億20百万円（前年同四半期比29.9%増）、売上高は6億56百万円（同41.8%減）となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こしや顧客への生産性向上提案による装置の改造工事、保守・メンテナンス受託や消耗品販売に努めました。

サービス事業の受注高は15億23百万円（前年同四半期比9.9%減）、売上高は16億4百万円（同23.4%減）、セグメント利益は3億47百万円（同44.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は108億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億53百万円減少しました。これは主に現金及び預金が12億58百万円、仕掛品が3億42百万円増加したものの、売掛金が22億53百万円、電子記録債権が1億29百万円減少したことによるものです。固定資産は36億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少しました。これは主に時価評価により投資有価証券が56百万円増加したものの、繰延税金資産が91百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は145億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億81百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は28億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少しました。これは主に1年内償還予定の社債が4億50百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億円増加したものの、未払法人税等が2億97百万円、賞与引当金が1億36百万円、前受金が92百万円、電子記録債務が86百万円減少したことによるものです。固定負債は4億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億18百万円減少しました。これは主に退職給付に係る負債が25百万円増加したものの、社債が4億50百万円、長期借入金が1億円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は32億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は113億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億80百万円減少しました。これは主に利益剰余金が2億58百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は77.6%（前連結会計年度末は75.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日付「2025年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,978,440	6,237,251
受取手形	9,813	1,569
電子記録債権	475,143	345,147
売掛金	3,464,223	1,210,439
商品及び製品	745	2,157
仕掛品	2,143,234	2,485,705
原材料及び貯蔵品	364,266	267,656
その他	290,856	323,571
貸倒引当金	△1,422	△1,373
流動資産合計	11,725,302	10,872,125
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	898,152	844,514
機械装置及び運搬具（純額）	139,412	183,789
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	52,741	78,539
その他（純額）	88,687	85,657
有形固定資産合計	3,149,555	3,163,062
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	1,723	753
その他	68,268	60,449
無形固定資産合計	69,991	61,203
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	173,248	229,835
繰延税金資産	241,440	150,242
退職給付に係る資産	69,899	63,002
その他	22,944	31,804
貸倒引当金	△981	△981
投資その他の資産合計	506,550	473,902
固定資産合計	3,726,096	3,698,167
<b>資産合計</b>	<b>15,451,399</b>	<b>14,570,292</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	565,494	617,191
電子記録債務	703,547	617,479
1年内償還予定の社債	—	450,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
リース債務	7,246	7,258
未払費用	210,636	184,849
未払法人税等	303,101	5,742
前受金	675,519	583,114
賞与引当金	243,501	106,947
役員賞与引当金	56,000	42,750
製品保証引当金	69,000	43,000
工事損失引当金	32,700	2,000
その他	44,113	68,997
<b>流動負債合計</b>	<b>2,910,860</b>	<b>2,829,331</b>
<b>固定負債</b>		
社債	450,000	—
長期借入金	100,000	—
リース債務	11,333	13,834
退職給付に係る負債	258,317	283,687
株式給付引当金	55,407	58,721
長期未払金	75,235	75,194
<b>固定負債合計</b>	<b>950,293</b>	<b>431,438</b>
<b>負債合計</b>	<b>3,861,154</b>	<b>3,260,770</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,798,018
利益剰余金	6,351,075	6,092,572
自己株式	△309,269	△298,284
<b>株主資本合計</b>	<b>11,012,716</b>	<b>10,769,411</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	98,325	136,107
為替換算調整勘定	431,329	365,356
退職給付に係る調整累計額	47,873	38,646
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>577,528</b>	<b>540,110</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,590,245</b>	<b>11,309,522</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,451,399</b>	<b>14,570,292</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,483,368	5,467,892
売上原価	3,063,399	3,850,809
売上総利益	1,419,968	1,617,083
販売費及び一般管理費	1,329,131	1,401,831
営業利益	90,836	215,252
営業外収益		
受取利息	7,107	5,333
受取配当金	23,162	4,838
受取貸料	1,660	1,504
補助金収入	—	9,738
為替差益	17,037	20,924
その他	4,298	13,530
営業外収益合計	53,266	55,869
営業外費用		
支払利息	1,253	1,216
支払保証料	1,154	1,156
組合投資損失	24,703	—
その他	341	1,476
営業外費用合計	27,453	3,849
経常利益	116,650	267,271
特別損失		
固定資産除却損	670	0
特別損失合計	670	0
税金等調整前四半期純利益	115,979	267,271
法人税、住民税及び事業税	78,104	14,676
法人税等調整額	△15,475	75,114
法人税等合計	62,629	89,790
四半期純利益	53,350	177,481
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,350	177,481

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	53,350	177,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,844	37,781
為替換算調整勘定	32,205	△65,972
退職給付に係る調整額	△1,830	△9,226
その他の包括利益合計	△52,469	△37,418
四半期包括利益	880	140,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880	140,063

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」制度（以下、「本制度」という。）を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金額により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は87,797千円、63,300株、当第3四半期連結会計期間末は83,358千円、60,100株です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,389,728	2,093,639	4,483,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,249	6,331	8,581
計	2,391,978	2,099,970	4,491,949
セグメント利益	134,274	622,317	756,591

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	756,591
セグメント間取引消去	24,538
全社費用（注）	△690,293
四半期連結損益計算書の営業利益	90,836

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,863,710	1,604,182	5,467,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,452	83	20,535
計	3,884,162	1,604,266	5,488,428
セグメント利益	634,323	347,911	982,234

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	982,234
セグメント間取引消去	22,049
全社費用（注）	△789,031
四半期連結損益計算書の営業利益	215,252

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	132,513千円	184,860千円

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,105,454	284,209	1,389,663
光学	156,010	966,627	1,122,637
電子部品	1,128,264	752,038	1,880,302
その他	—	90,763	90,763
顧客との契約から生じる収益	2,389,728	2,093,639	4,483,368
外部顧客への売上高	2,389,728	2,093,639	4,483,368

当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,380,601	227,086	1,607,688
光学	1,826,383	433,441	2,259,824
電子部品	656,725	863,957	1,520,682
その他	—	79,696	79,696
顧客との契約から生じる収益	3,863,710	1,604,182	5,467,892
外部顧客への売上高	3,863,710	1,604,182	5,467,892

## 3. 補足説明

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) (千円)	前年同四半期増減率(%)
真空技術応用装置事業	水晶デバイス装置	1,380,601
	光学装置	1,826,383
	電子部品装置	656,725
	その他装置	—
	真空技術応用装置事業計	3,863,710
		61.7
サービス事業	改造工事	491,392
	部品販売	748,365
	修理・その他	366,524
	サービス事業計	1,606,282
	合計	5,469,992
		161.5

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。

2. 光学装置の生産実績の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「—」と表記しております。

## ②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期増減率(%)	受注残高 (千円)	前年同四半期増減率(%)
真空技術応用装置事業	水晶デバイス装置	△ 52.6	2,741,236	45.8
	光学装置	△ 85.9	650,952	△ 83.0
	電子部品装置	29.9	1,947,280	72.5
	その他装置	—	—	—
	真空技術応用装置事業計	△ 42.8	5,339,468	△ 21.8
サービス事業	改造工事	△ 13.0	308,373	△ 25.1
	部品販売	△ 12.6	—	—
	修理・その他	0.3	—	—
	サービス事業計	△ 9.9	308,373	△ 25.1
	合計	△ 34.8	5,647,841	△ 22.0

## ③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) (千円)	前年同四半期増減率(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,380,601	24.9
光学装置	1,826,383	—
電子部品装置	656,725	△ 41.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	3,863,710	61.7
サービス事業		
改造工事	491,392	△ 43.8
部品販売	746,265	△ 12.6
修理・その他	366,524	0.3
サービス事業計	1,604,182	△ 23.4
合計	5,467,892	22.0

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 光学装置の販売実績の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「—」と表記しております。